

出火・放火を防ぐ取り組み

—— 私たちにできることは？

火災原因の一番は放火！

東京消防庁の平成25年火災原因の1位は放火でした。大森消防署と田園調布消防署の管内では、公園内や公園のトイレ内での放火が多く発生しました。このことから両消防署では、放火防止ポスター「誰かが見えています」を作成し、大田区都市基盤整備部の協力により管内の区立公園や公衆トイレ等に貼付しました。その結果、平成26年の上半期の放火件数は前年同時期（14件）より6件減少しました。

さらに放火を減らすために、私たちにもできることがあります。“火災を防ぐポイント”を参考に、身近なことからすぐ始めましょう。



文字とフクロウの眼が蛍光色で目立つようにデザインされています。

放火火災を防ぐポイント

- 家の周りを整理整頓しましょう。
- 家の周りには、燃えやすい物は放置しないようにしましょう。
- 車庫や物置などに鍵をかけましょう。
- ゴミは収集日の朝、決められた場所に出しましょう。
- 自転車やバイクのカバーは防災品を使うようにしましょう。



二番目はたばこ！

たばこによる火災を防ぐポイント

- くわえたばこをしながら作業をするのはやめましょう。
- 寝たばこは絶対しないようにしましょう。
- たばこの吸殻をゴミ箱に捨てるのはやめましょう。
- 灰皿には水を入れて使用しましょう。



火の用心してありますか？

一年で最も火災の多い季節になりました。皆様、日頃何か対策をしていますか？今号は、大森消防署から最近の火災原因の傾向と防火の効果的な対策を伺い、特集しました。ちょっとした心がけで火災を防ぐポイントが満載です。是非お役立てください。

三番目はガステーブル・こんろ等！

ガステーブル等による火災を防ぐポイント

- 火気を使用している時はその場を離れず、離れる際は火を消しましょう。
- ガステーブル等の周囲は整理整頓し、燃えやすいものは近くに置かないようにしましょう。
- ガステーブル等の周囲に付着している油や食品は拭き取りましょう。
- ガステーブル等の上には物を置かないようにしましょう。誤ってスイッチが入ったとき、火災に繋がる恐れがあります。
- 調理をする時は、着ている衣服の袖や裾に燃え移らないように注意しましょう。



大森消防署管内では、調理中に着ているものにこんろの火が接触し、けが人や死者が発生しています。防災品のアームカバーやエプロンを使用し、着衣着火を防止しましょう。

火災による高齢者の死亡が増えています！ 住宅火災による死亡の9割が高齢者

平成26年上半期の火災件数は2,519件で、前年同期と比べて190件減少しています。1日あたりの火災件数は平均で13.9件となっています。

住宅火災による死者（自損を除く）は41人となっており、住宅火災による死者のうち、65歳以上の高齢者の死者は38人（92.7%）で、前年同期（35件）と比べて3人増加しています。住宅火災による死者に占める高齢者の割合は増加傾向にあります。

平成25年・平成26年東京消防庁上半期火災件数（1月～6月末）

年	合計	建物火災					車両	その他	焼損床面積 (㎡)	焼損表面積 (㎡)	死者 (人)	負傷者 (人)
		小計	全焼	半焼	部分焼	ぼや						
25年	2,709	1,681	80	54	314	1,233	134	892	16,114	8,077	58	433
26年	2,519	1,543	56	41	264	1,182	178	797	15,144	4,776	55	432

平成26年大田区内上半期火災件数（1月～6月末）

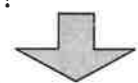
年	合計	建物火災					車両	その他	焼損床面積 (㎡)	焼損表面積 (㎡)	死者 (人)	負傷者 (人)
		小計	全焼	半焼	部分焼	ぼや						
大森	39	28	0	1	2	25	3	8	80	106	1	9
田園調布	24	11	1	1	2	7	3	10	108	84	0	7
蒲田	30	19	0	1	6	12	3	8	93	29	0	10
矢口	18	13	0	1	3	9	2	3	179	100	0	9
累計	111	71	1	4	13	53	11	29	460	319	1	35
前年比	-8	-16	-5	0	-1	-10	3	5	-478	10	-4	12

平成26年上半期（1月～6月）の大田区内火災件数は111件で、前年同期と比べると8件減少しています。住宅火災による死者は減少していますが、負傷者は12名増えています。

出火と死亡件数を減らすために —— 私たちにできることは？

火災発見・避難行動の遅れを防ぐために

- 住宅用火災警報器を全室に設置する！
- 防災製品を使用する！



火災の早期発見・拡大防止で命を守りましょう！

問合せ先 03-3766-0119 大森消防署 防火管理係

受賞おめでとうございます (敬称略)

東京都赤十字奉仕団功労表彰

- ◇銀色有功章（15年以上）
田中 和子（山王三・四丁目自治会） 梁田百合子
- ◇金柁支部長感謝状（10年以上）
田中 和子（中央一丁目町会） 今村美和子
- ◇銀柁支部長感謝状（5年以上）
村田 直子 相馬かつ子 大矢 雅恵
- 大田区青少年対策地区委員会永年功労者表彰（10年以上）
加藤 幸子 伊藤 孝夫 鈴木 英明 小笠原悦子

【防災情報】

「わがまち防災ネット」がスタート

防災の日の9月1日から大田区では、23区で初となる防災情報に特化した地図情報システム「わがまち防災ネット」をスタートしました。街頭に設置された消火器の場所などをインターネットで簡単に検索できるシステムで、災害が起こった場合、区民がスマートフォンやパソコン、タブレット端末から情報を素早く入手できるようにするねらいです。

これまで配布されていた印刷物では情報の更新が簡単ではないことや、拡大ができないことから、利用者の利便性を向上させようと、「ネット地図」を採用したとのこと。是非、お試しください。

「大田文化の森夏まつり」でデビュー 中央一丁目町会バンドグループとコーラス隊

中央一丁目町会では、今年、6人のメンバーによる軽音楽グループ「中央一丁目シンキングボイス」と「婦人部コーラス隊」を結成し、7月26日に催された「大田文化の森夏まつり」でデビューを果たしました。バンドは「Fly me to the moon」で始まり、花子とアンの「にじいろ」までを女性ボーカルで聴かせ、コーラス隊は「青い山脈」「いつでも夢を」などを熱唱し、盛んな拍手を受けました。バンドメンバーは、中央一丁目在住もしくは新井宿地区にご縁のある方々です。



編集後記

◆大地震、今までに経験したことがない大雨、突然の火山噴火など、大きな災害が続いており、防災に対する私たちの意識は高まってきています。防火についてはどうでしょう。今回の特集は防火についてとりあげました。どうすれば火災を減らすことができるのか、一人ひとりの意識を高めたいものです。

◆待ちに待った新庁舎オープン！旧庁舎は48年の歴史を閉じました。私たち編集委員会にとって、発行からずっとお世話になった旧庁舎は、想い出深い場所でしたが、その編集作業も今号で最後となりました。長い間ありがとうございました。来年からは新庁舎で、心新たに皆様に親しまれる紙面を目指して頑張ってください。（齋藤編集委員）

ダブルダッチ 世界大会で地域の小学生優勝

ダブルダッチとは2本のロープを使って跳ぶ縄跳びで、3人以上で行い、向かい合った2人の「回し手」が右手のロープと左手のロープを半周ずらして内側に回す中を「跳び手」がその回数や技を競うものです。

新井宿・馬込地区の女子6名チームが1月に行われたADDL（アメリカンダブルダッチリーグ）日本選考会において小学4年生の部で優勝しました。

6月中旬にアメリカ・サウスカロライナ州サマターで行われた「アメリカンダブルダッチリーグ世界招待選手権大会」で小学4年生の部（日本の5年生）に出場し、回し手2人に跳び手1人のシングルスピード、回し手2人に跳び手2人のダブルスフリースタイルの2部門で優勝しました。



学校に泊まろう（ミニ防災体験）

8月23日入新井第二小学校雷親父倶楽部（ライフクラブ）の主催で5・6年生中心に30数名が学校の体育館に泊まり、ミニ防災体験をしました。

みんなで夕食、朝食（アルファ化米、その他）を食べて、体育館で一緒に寝て、防災について考えました。

それに先立って午後4時から、新井宿五・七丁目町会の市民消防隊による放水訓練とバケツ消火リレーを体験しました。

その後はスイカ割を楽しみました。

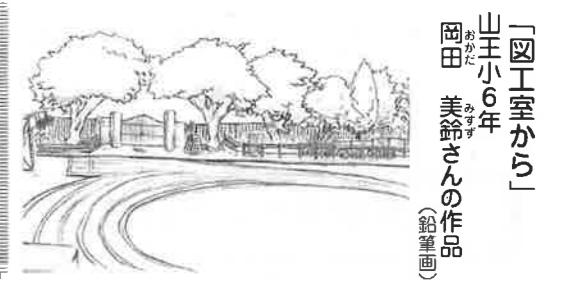


発行 地域力推進新井宿地区委員会
編集 「わがまち新井宿」編集委員会

- | | | |
|------------|--------|--------|
| 中央四丁目町会 | 編集委員 | 若生 一 順 |
| 山王三丁目東自治会 | 副編集委員長 | 荒木 秀 樹 |
| 中央一丁目町会 | 副編集委員長 | 齋藤 蓉 子 |
| 山王三・四丁目自治会 | 編集委員 | 山崎 三津子 |
| 山王三丁目町会 | 編集委員 | 吉川 信 一 |
| 新井宿五丁目町会 | 編集委員 | 加藤 弘 子 |
| 新井宿六丁目町会 | 編集委員 | 河原 神風代 |
| 新井宿七丁目町会 | 編集委員 | 落合 松 枝 |

.....共同編集.....

監修 新井宿自治会連合会
事務局 大田区新井宿特別出張所
大田区中央1-21-6 ☎3776-5391
<http://www.city.ota.tokyo.jp/omori/index.html>



新井宿特別出張所 新庁舎オープン！

～さらに身近で、頼れる施設に～

11月25日(火)から、新井宿特別出張所が新庁舎に移転して業務を開始しました。場所は池上通りと臼田坂が交差する角地。池上通りを挟んだ向かい側には「大田文化の森」があります。

庁舎にはエレベータ、点字ブロックを施した床、車いすも利用できる「誰でもトイレ」等が設置され、ユニバーサルデザインを意識したつくりとなっており、まさに「文化と福祉と医療のまち 新井宿」を体現したものとなっています。

新井宿特別出張所の「移転オープン」にあたり、新井宿特別出張所 松下所長にお話しを伺いました。

松下所長のお話

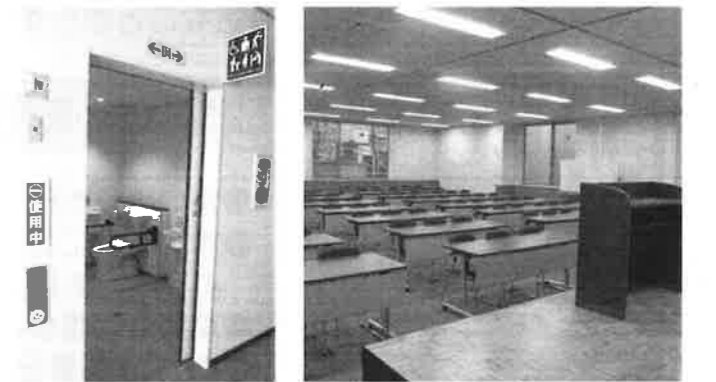
平成25年の10月に着工して以来、1年余の工事を経て新庁舎が完成しました。大田文化の森とも調和した外観の庁舎となっており、新井宿地区の新しいランドマークとして、地域の皆様に一層、親しんでいただける出張所にしていきたいと考えております。

新庁舎の1階にはギャラリースペースが設けられており、新井宿地区の見所や馬込文士村等、周辺地域の魅力を紹介する展示を行ってまいります。2階には新たに地域防災倉庫を設置し、地域防災の拠点としての機能をより高めてまいります。また、3階の大会議室には、ピクチャーレールや可動式パネル等の設備があり、会議室としての機能はもちろん、書画等の展示会場としてもご利用いただけます。大会議室は、新井宿地区の自治会・町会等、公益的な活動をしている方々に無料でご利用いただけますので、各種活動の場としていただければと思います。ご利用についての詳細は、新井宿特別出張所までお問い合わせください。

来年の3月には旧・新井宿特別出張所の向かいに「障がい者総合サポートセンター」がオープンする予定です。新井宿のまちはこれからも大きく変わってまいります。新井宿地区にお住まいの皆様にとって、より良いまちとなるよう努めてまいります。

新井宿特別出張所新庁舎

所在地：大田区中央一丁目21番6号
電話番号：3776-5391（変更なし）
FAX番号：3776-3368（変更なし）



誰でもトイレ

3階大会議室

新井宿地区総合防災訓練が開催されます！

平成26年12月14日(日)午前9時～正午、新井宿地区で6年ぶりの総合防災訓練が、大森第三中学校周辺を会場に実施されます。今回は「公助につなげる共助活動」をテーマに、大森三中の学校防災活動拠点と、大田区の災害対策本部等が連動した訓練を行います。普段の訓練ではなかなか体験できない、貴重で大規模な内容となっておりますので、大森三中を避難所としている町会の方以外の新井宿地区の皆様のご参加も大歓迎とのことです。当日は避難者役で訓練に参加し、実際の避難所の雰囲気を感じていただくこともできます。また、起震車や煙体験、消火器の訓練や災害時特設公衆電話の体験など、お子さんにも防災に関心を持ってもらえるコーナーがたくさん用意されています。ぜひ、ご家族で足を運んでみてはいかがでしょうか。

